

このハンドブックは、ここにある団体が協力してつくりました。



本冊子は、独立行政法人環境再生保全機構の平成27年度地球環境基金を受けて作成しました。

私たちが目指す世界

子どものための「持続可能な開発目標(SDGs)」^{エスディーゼイズ}

～2030年までの17の目標～



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標

サステナブル ディベロップメント ゴールズ
Sustainable Development Goals

エスディーゼーズ
SDGs

エスディーゼーズ
持続可能な開発目標(SDGs)は、貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。



エスディーゼーズ 私たちが目指す世界 子どものための「持続可能な開発目標(SDGs)」～2030年までの17の目標～

原作著作権: The Global Movement for Children of Latin America and Caribbean (MMI-LAC)
"The World We Want – A Young Person's Guide to the Global Goals for Sustainable Development"
2014年10月初版発行、2015年8月改訂

グローバル版編集: SOS Children's Villages International, Save the Children, UNICEF (国連児童基金), World's Largest Lesson
日本語版制作: 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4階 Tel: 03-6859-0070 Fax: 03-6859-0069 <http://www.savechildren.or.jp>
2015年10月初版発行、2016年5月改訂、2018年4月改訂

※グローバル版を日本語版に翻訳するにあたり、一部の事例を日本の状況に合わせて変更しています
監訳: (特活)ACE、(特活)国際子ども権利センター、(特活)チャイルド・ファンド・ジャパン、(一社)環境パートナーシップ会議、(特活)国際協力NGOセンター、
(公財)プラン・インターナショナル・ジャパン、(一社)SDGs市民社会ネットワーク(旧 動く→動かす)、UNICEF東京事務所 / (公財)日本ユニセフ協会、
(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン
イラスト・デザイン: たかはしなな

はじめに

2016年からの15年間ですべての人々にとってより良い世界をつくるため、世界の国々の政府は、すべての人や私たちの地球にとって最も重要な目標について話し合いました。そして、若者や子どもを含む、多くの人びとや組織が協力し、17の「持続可能な開発目標(以下、SDGs)」が決められました。

持続可能って？

今、自分のまわりのことだけではなく、未来のみんなや地球も今みたいに暮らせるということ。

開発って？

十分に食べられなかったり、学校に行けなかったり、病気で病院に行けなかったり、住んでいるところがとても危険だったり、暴力をふるわれたり、自由に意見が言えなかったりすることをなくして、みんなが安心して、自分の能力を十分に発揮しながら満足して暮らせるようにすること。

エスディーゼーズ
このハンドブックは、みなさんにSDGsについて知ってもらうために作られました。この目標がみなさんの生活にどう関わっているのか、政府が目標を達成するために、みなさんが日々できることは何かを考えるためのものです。

エスディーゼーズ
SDGsは、今、私たちの世界が直面している様々な問題を解決することを目指しています。しかし、そのためには世界中の人びとの協力が必要です。みなさんやみなさんの家族、先生、友達、みなさんの地域に暮らす人、みなさんの兄弟や姉妹の協力が必要なのです。目標を達成するために何ができるかを、私たち一人一人が考えることがとても大切です。一人の力は小さくても、世界中の多くの人びとが力を合わせれば、とても大きな力になるでしょう！

みなさんのような子どもや若者は、この目標についてどう思いますか？みなさんにとって一番大切なことは何か、みんなの生活をより良くするためには何が必要なのか、どのようにすればこの目標を達成でき、現在そして未来の世界をより良くできるのか、ということをごひこのハンドブックを通して考えてみて下さい。このハンドブックを楽しみながら使っていただけたら幸いです。

！ 1 まず、知っておいてほしいこと

国際連合(国連): 国際連合は、1945年に作られた、世界で最も大きな国際機関(多数の国が集まって作る国際的な組織)です。世界のほとんどすべての国が国連に参加しています。国連の仕事は、世界の平和と安全を守ること、世界の様々な問題を解決すること、子どもや若者を含むすべての人の人権(すべての人間が生まれながらに与えられている権利)を大切にすること、そしてこれらの仕事のために国々が協力するのを助けることです。

国連加盟国: 国連に参加している国々のことです(このハンドブックでは、「世界の国々」や「国連の参加国」としています)。2018年の国連加盟国は193か国です。

ミレニアムサミット: 2000年は、ちょうど千年の区切りで「ミレニアム」と呼ばれます。そのミレニアムの年に開かれたサミット(国の一番の責任者である大統領や総理大臣たちの集まる会議)で、国連に参加している189の国の代表は「国連ミレニアム宣言」を採択(みんなで合意して選ぶこと)しました。この宣言が出されてから、世界は団結して貧困と闘ってきました。この宣言が、次にある「ミレニアム開発目標」の土台となりました。

ミレニアム開発目標(MDGs): ミレニアム開発目標は、国際機関や政府が、世界の様々な問題に協力して取り組むために作られた8つの目標です。その問題には、貧困や飢餓(長い間食べられず、栄養が足りなくなる)と闘うこと、HIV/エイズのような病気をなくすこと、男女間での差別をなくすこと、より多くの子どもたちが学校に行けるようにすること、などがあります。この8つの目標を達成するための期限は、2015年と決められました。2015年までに色々なことが良い方向に変わりましたが、まだやらなくてはいけないことが残っています。世界の国々は、この目標を達成するためにどのような努力をしたのかを、決められた時期に国連に報告しました。国連は、それぞれの国がどれくらい目標を達成できたかを調べました。

「持続可能な開発目標(SDGs)」: MDGsの期限は2015年ですが、世界や私たちの政府は、MDGsがすべての人びとにとって達成されるよう努力を続ける必要があります。そして新たに出てきた課題や問題にも取り組むことが必要です。たとえば、世界中でいまだに10億人以上の人々が貧困の中で暮らしており、また多くの人びとが格差(豊かな人と貧しい人との間など、色々なことに違いや差があること)や不公平、差別を経験しているのです。MDGsが期限を迎えるにあたり、国連は2016年から2030年までの次の15年間の目標を決めるために話し合いをしてきました。そして、「持続可能な開発目標」、あるいは短く「SDGs」として、17の目標が決められました。極度の貧困(生きていくために必要な食べ物すら手に入れないほどの貧困)をなくすこと、すべての子どもが良い教育を受けられるようにすること、すべての人に平等な機会が与えられること、私たちの地球が汚されず健全であるように消費や生産の方法を変えていくことなど、世界にとって大変重要なことが目標に含まれたのです。MDGsによってどのようなことが達成されたのか、そしてSDGsとどのように関係するのかを知りたい場合は、このハンドブックの最後の「付録」をご覧ください。

? 「持続可能な開発目標(SDGs)」って?

2015年9月、ニューヨークの国連総会で、世界の国々はSDGsについて合意しました。この合意により、貧困を終わらせ、すべての人が平等な機会が与えられ、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができ、世界を目指して、世界中が努力することが約束されたのです。2016年から2030年までの15年間、世界中の国々はこのSDGsの達成に向けて取り組んでいくことになります。

? 「持続可能な開発目標(SDGs)」はどうやって選ばれたの?

国連は、2013年にオープン・ワーキング・グループという世界中の国々の代表が参加するグループを作り、何回も会議が行われました。このグループには教育や保健などの専門家も参加し、地球やすべての人のより良い生活のさまたげになっている、世界で最も緊急の問題が話し合われました。同時に世界中で、国の代表だけではなく、普通の人びとがこの問題を話し合い、SDGsに何を入れるべきかについて意見を出す機会が持たれました。これらの話し合いをもとに、オープン・ワーキング・グループは様々な問題に対して、「目標」と、目標をさらに詳しくした「ターゲット」の案を作りました。この目標とターゲットには、例えば、貧困や飢餓(長い間食べられず、栄養が足りなくなる)を終わらせること、人権や平和、ジェンダーの平等(すべての人が性を理由に差別されないこと)がきちんと守られること、また、環境や天然資源(自然の中から得られる資源。石油や水、森林、魚などの生物など)を持続可能な方法で管理することなどが含まれています。

オープン・ワーキング・グループの案が提出された後、今度は世界の国々がその案について話し合いました。そして、この案が意欲的な良い目標であるとして、この17の目標に政府として合意しようということが決まりました。政府はこの目標を世界中に紹介するために「宣言」の文をつくり、目標を達成するための具体的な行動や、目標が達成されているかどうかを確かめる方法などについても話し合いました。そして、2015年8月、世界の国々は、「宣言」、「持続可能な開発目標(SDGs)」、そのための行動などの文書全体に合意しました。こうして、2015年9月のニューヨークの国連本部での正式な採択(みんなで合意して選ぶこと)の準備が整ったのです。このハンドブックでは、SDGsの17の目標と主なターゲットについて説明します。

2000年から2015年まで
ミレニアム開発目標(MDGs)

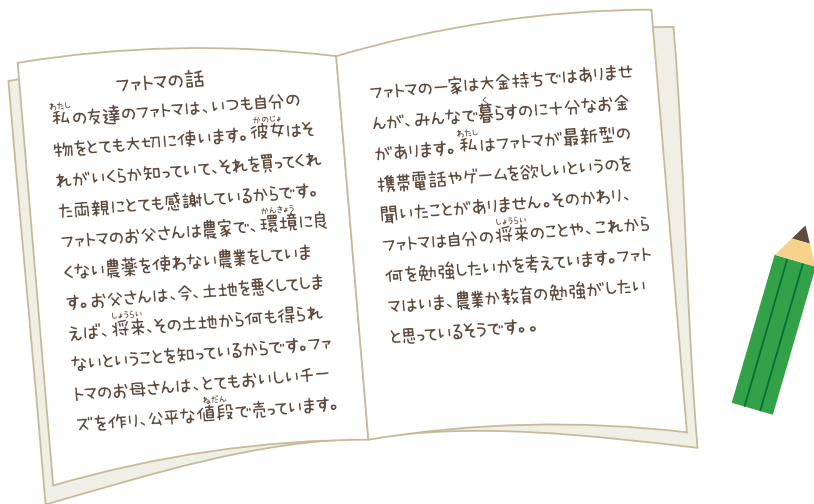
2016年から2030年まで
持続可能な開発目標(SDGs)

「持続可能な開発」って何？どうしてそれが大事なの？

持続可能な開発とは、将来の世代のための環境や資源を壊さずに、今の生活をよりよい状態にすることです。

今ある資源をすべて使ってしまい、未来の人々に何も残さない開発は、持続可能ではありません。持続可能な開発とは、共に成長し、他者を思いやり、環境を大切にすることです。

持続可能な開発を行っていくためには、より公正（かたよらず、正義があること）で公平な社会に向けてみんなが協力し、大きな変化をもたらしていく必要があります。そのためには、国のリーダーが協力を約束しなければなりません。私たちにやらなければならないことがあります。それは、例えば、子どもや若者に影響を与える問題について意見を言ったり、私たちや未来の世代にとっての理想の世界とはどんな世界なのかを調べたり、話し合ったりすることです。また、自分以外の人や地球を大事にするなど、私たちが毎日の生活の中でできることを、積極的にやっていくことも大事です。



あなたはどんな世界に住みたいですか？子どもや若者の意見や考えは、大事です！

ちょっと休憩…

次に進む前に以下のことばを右から探してみよう！

- こども ● せいさく ● さんか
- もくひょう ● じえんだー ● じんけん
- こうへい ● ひんこん ● くに

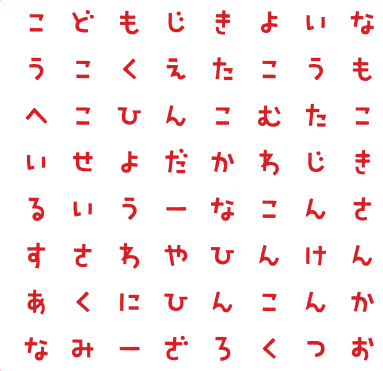
こども 「国連子どもの権利条約」によると、子どもとは、18歳未満の人のことをさします。

もくひょう 目標とは、努力の結果として得ようとするものです。この結果を達成しているかどうか知るために、より詳しいターゲットを決めます。

こうへい 衡平さは、世界がより発展し、平和で公正（かたよらず、正義があること）な場所になるために大事な考え方です。衡平さとは、違いを大切にしながら、みんながそれぞれの権利を平等に得られるようにすることです。

せいさく 政策とは、国が様々な問題に取り組むため、また、国民の利益のために行う行動のことです。

じえんだー ジェンダーとは、社会で考えられている男性と女性の違いのことです。人間も他の生物と同じように、「男性」と「女性」の二つに分けられますが、そうした生物としての「男女の違い」とはことなり、社会から求められる「男ならこうあるべき」「女ならこうあるべき」といった違いのことをいいます。



ひんこん 貧困とは、食べ物や、健康な体、学校に行くことなど、生きていくのに必要なものが十分でない状態のことです。

さんか 参加とは、感じたり、聞いたり、自分の意見を表したりすること、そしてその意見を聞いてもらうことで、これは私たちの権利です。参加することは、「今」、「ここで」、何かをする、ということです。

じんけん 人権とは、すべての人間が生まれながらに与えられている権利です。人権は、「平等」と「尊厳」（とても大切で、だれからも奪われないこと）という2つの主な考え方に基づいています。

くに 国とは、領土、国民、政府、法律などによって成り立ち、これらがもとになって政策や制度が作られます。





目標1 貧困をなくすこと

世界中の、あらゆる形の貧困を終わらせる

※あらゆる形の貧困とは、お金がないだけでなく、教育や仕事や食料、水、病院、住むところなどの必要な物やサービスがない、あるいは受けられないことや、自分の意見を言えないなど、自分のもっている本当の力を十分に生かせないことも含まれます。

目標1を達成するために、世界の国々が合意したこと

- ★ すべての人が、失業(仕事を失うこと)のような状態から守られ、医者による診察など、必要なサービスを受けられるようにします。これは「社会的保護」と呼ばれ、特に最も貧しく、弱い立場にある人たちを守り、支えるための仕組みです。
- ★ 貧しい人が、他の人と同じように、必要なサービスを受けられ、仕事や土地を得られ、新しい技術を使ったり、会社を作ったりすることが出来るようにするための政策に、お金や人材などを使います。
- ★ 災害など洪水や干ばつ(雨が降らないなどの理由で、土が乾ききってしまい、農作物が育たなくなってしまうこと)といった気候に関する災害やその他の経済や社会、環境の突然の変化などから、貧しい人が受ける被害や影響を減らし、災害から立ち直る力を高めます。

目標1で一番大事なことは、2030年までに「極度の貧困」(生きていくために必要な食べ物すら手に入れないほどの貧困)を終わらせることなんだよ。

それはとっても大きな目標ね。どうやって達成できるのかな？

世界中の国々が貧困と闘うために協力して行動することが必要だよ。国連は、それぞれの国がきちんと努力しているかどうか、確認しなければならぬんだ。

じゃあ、私たちに何かできることはあるの？

僕たちはみんな、国がみんなのためにより良い世界を作る努力をするように求める権利があるんだ。問題について友達と話したり、子どもの声を聞いてくれるように政府に求めたりもできるよ。自分たちでグループをつくって、お互いに協力することもできるよ。

僕たちは、例えば、世界でなぜ人々が貧しくなるのか、貧しいとどうなるのか、何かおこるのかについて、もっと調べてみるよ。そうすれば、地球全体のことをちゃんと知っている、地球市民になれると思うよ。

なぜこの目標は子どもや若者にとって大事なのでしょうか？

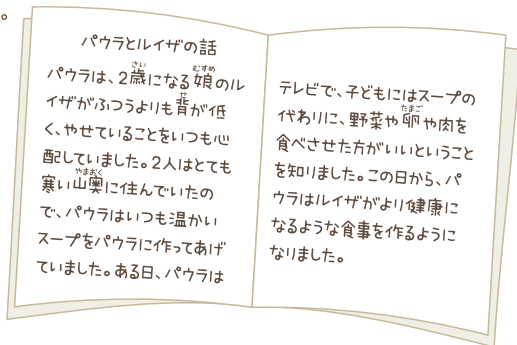
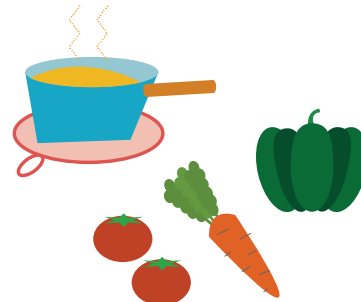


目標2 飢餓をなくすこと

飢餓(長い間食べられず、栄養が足りなくなること)をなくし、生きていくために必要な食料を安定して手に入れることのできる権利を保障し、栄養状態を良くして、持続可能な農業を進める

目標2を達成するために、世界の国々が合意したこと

- ★ 子どもやお母さん、お年寄りのためのより良い取り組みを行ったり、安全で栄養のある十分な食料が1年中手に入るようにしたりすることで、栄養不良(必要な栄養が取れない、または栄養のバランスがよいことによつて、不健康な状態になること)を無くします。
- ★ 農業の生産量を増やし、小さい農家(特に女性や少数民族)の収入を増やします。その際、環境を壊さないようにし、それぞれの地域の生物多様性(たくさんの種類の生き物が複雑に関わり合い、様々な環境に合わせで生きていること)や資源を守るよう気を付けます。
- ★ 干ばつ(雨が降らないなどの理由で、土が乾ききってしまい、農作物が育たなくなってしまうこと)や洪水、その他の災害を予防します。
- ★ 種や作物、家畜の多様性(様々な異なる種類が幅広く存在すること)を守ります。そして、これらの資源から得られた恵みを公平に分け合います。



ペウラとレイザの話
ペウラは、2歳になる娘のレイザが、ふつうよりも背が低く、やせていることをいつも心配していました。2人はとても寒い山奥に住んでいたの
で、ペウラはいつも温かいスープをペウラに作ってあげていました。ある日、ペウラは

テレビで、子どもにはスープの代わりに、野菜や卵や肉を食べさせた方がいいということを知りました。この日から、ペウラはレイザがより健康になるような食事を作るようになりました。

すべての子どもが、健康に成長していくのに十分な量の、栄養のある食事をするために、何が出来るのでしょうか？